

## ボランティア伝言板

シリーズ3・震災救援編

# 多くのふれあいが被災地復興の力に

### ストレートな気持ちをコーディネートしている

社会福祉法人 大坂ボランティア協会 理事 事務局長 早瀬 昇さん(41歳)

ボランティア活動は、思っている以上に大変なことです。でも、自分たちが被災地のためにできることを、自分たちの力で実現したいという思いが、ボランティア活動の原動力です。被災地では、ボランティアの活動が、被災者の生活を支える重要な役割を果たしています。私たちは、被災者のニーズを把握し、適切な支援を提供するために、ボランティア活動をコーディネートしています。被災地では、ボランティアの活動が、被災者の生活を支える重要な役割を果たしています。私たちは、被災者のニーズを把握し、適切な支援を提供するために、ボランティア活動をコーディネートしています。



### 被災地の皆さんを元気づけるための交流会に

兼務 中部助け合いネットワーク 代表幹事 中村順子さん(49歳)

阪神・淡路大震災発生から約2週間後、東海・東濃のボランティア拠点に私たちの活動はスタートしました。2、3ヶ月間は被災地の在宅者を対象に、水くみ、洗濯から通院介助まで、生活全般のお手伝いをさせていただきました。そうした生活支援サービスと並行して、昨年11月から、被災地などで不安な日々を送っているお年寄りのために「ふれあいサロン」を始めました。高齢者など、皆さんが安心して暮らすための交流会です。日頃の金ですが、地域の宝を、皆さんが楽しんでくださる効果は大きいんです。今では東海・東濃の12ヶ所で開催されるまでに、定期的に開催するまでに、定期的な活動が定着しました。日本財団をはじめとする多くの方々の支援のおかげだと思います。

### 日本財団はボランティア活動を応援しています

福祉をはじめ、環境・自然保護など、日々さまざまなボランティア活動に懸命に取り組むボランティア・グループの皆様の力になりたい。ボランティア活動にエールを送ることで、心の通うあたたかい社会づくりのお役に立ちたい。私たちの「ボランティア活動支援事業」は、その願いからスタートしました。



日本財団  
The Nippon Foundation  
駐日本船舶振興会の通称です  
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

——いつでもお問い合わせください——

ボランティア支援部協力援助課  
〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16(船橋ビル)

FAX 03-3580-6215

モーターボート競走の収益金の一部はボランティア活動支援事業にも役立てられています。